

花の里山ボランティア

平成28年6月18日

入笠山の貴重な花々を後世に残そうと、「入笠『花の里山』植栽ボランティア活動が6月18日、入笠湿原の周辺で行われました。金融機関、富士見高校など約10団体と個人を合わせ約80人が参加。町議会議員も参加しました。

ボランティア活動は町などが呼び掛け、2005年から10年以上続いています。



ハイカーが歩く道路沿いのヨモギ、マーガレットなどを抜き取るボランティア

今年は植栽を行わず、参加者が3グループに分かれ、繁殖力の強い外来植物のマーガレット、ヨモギ、イタドリの3種類を抜き取る作業を行いました。当日は梅雨の晴れ間となり、太陽が照りつける暑い日となりましたが、約2時間半、心を一つにして作業に精を出しました。

親子で参加した人もいて、「入笠山がいつまでも花の宝庫であり続けて、子どもたちが大人になっても多くの人たちに親しまれる場所であってほしい」と願っていました。

(川合 弘人)

議会傍聴感想

6月定例会の一般質問に、池袋地区社協の皆様が大勢議会傍聴にお越しいただきました。多くの感想を頂戴しましたので、その中から一部をご紹介します。

- 小学校の件、身近な問題を取り上げていて、詳しく説明してもらってよかった。
- 保育園の統合の話など、私たちも関心のある話題でよかった。
- 議会の傍聴は初めて。首都圏に住んでいたが、99%の人は行ったことがないだろうと思う。いい機会だった。
- 奨学金の件、自分も高校を奨学金で卒業したので、返すのがとてもえらなかった。町も給付してほしい。教育が一番大切なこと。将来に向けて力を入れてほしい。
- 町民との対話で出た話題が質問に上がっていたようで、住民の声が議会に反映されているようでうれしかった。これからも町民の意見に耳を傾ける議会であってほしいと思った。

【編集後記】

暑中お見舞い申し上げます。18歳以上の選挙権が認められ先月、初の選挙が行われました。富士見町では300名位の有権者が増えました。富士見町議会、テーマの1つでもある「開かれた議会を推進する」ために、今後若い世代の方々と交流、意見交換会などの場を設けたいと思いますのでご期待ください。さて今年も御柱年、諏訪大社御柱祭から数カ月が過ぎました。既に終わった地域もありますが、これから、各地域で小宮祭が予定されていると思います。地域での有終の美を飾ってください。

(議会広報編集副委員長 矢島 尚)

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.144】平成28年8月1日発行 発行：富士見町議会 / 編集：議会広報編集委員会
委員長：川合 弘人 / 副委員長：矢島 尚 / 委員：五味 高幸 小林 市子
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777
TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp
印刷：有限会社 富士見印刷